

7月16日 土曜日

2016年(平成28年)

西アフリカ選抜 海星高で交流



特大の筆で「勝利」の漢字に挑戦する西アフリカ選抜の選手

書道や 茶道も

あす17日に北海道日本ハムファイターズOBレジエンスとの試合を控える西アフリカ選抜の選手たちが15日、室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、237人)を訪れ、生徒たちと交流を深めた。

ブルキナファソとガーナ国籍の選手ら13人が来校し、2グループに分かれ、茶道部と書道部を訪問した。

書道部では「野球」や「勝利」の漢字に挑戦。書道部生徒の見本を参考に、筆をさらさらと動かすと日本人顔負けのしつかりとした文字を書き上げた。中には特大の筆で全紙と呼ばれる大きな半紙でチャレンジする選手も。

ヘンリー・ニコイさん(18)は「高校の美術の勉強で使った筆と似た感覚だった」。書道部長の原田奈々さん(2年)は「書道の奥深さを知ってもらえた」と選手たちとすつかり仲良くなった。

選手たちは海陽小(林暁宏校長、451人)にも14日に訪れ、6年生89人と給食を食べながら交流した。各クラスの授業も見て回った。(池田勇人)